



ふ・わ・あい

“くるまに乗って
お出かけだ!”
“名ドライバーが
通りますよ~”



平成30年9月から行われていたひがしね保育園の改修工事が完了し、4月から新しい園舎での保育がスタートしました。0歳児・1歳児の保育室は、木材を使用した温もりのある保育室です。しよがい児・2歳児の保育室は、それぞれ子どもたちに配慮した機能を取り入れられました。さらに床暖房となり、冬の寒い日も子どもたちが安心して過ごすことができる環境へと変わりました。

ひがしね保育園

改修工事が完了

0歳児、1歳児保育がスタートしました!



これから地域の皆さん、保護者の皆さんのご協力をいただき保育にあたってまいります。

併せて、園庭の整備を行い、遊具の設置と築山の造作をしました。築山では、小さい子は大きい子の動きをマネて、一生懸命に登り下りをしていきます。大きい子は、上の方からジャンプしたりと、元気に走り回る子どもたちの姿や笑い声が響いています。



新しい遊具に乗ってハイポーズ

夏の日差しをうける園庭では、子どもたちが毎日遊んでいます。7月2日にプール開きが行われました。改修工事に伴い、これまでのプールを解体したため、今年度からは組立式のプールを設置して、水遊びをしています。

この広報誌には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

平成31年度(令和元年度) 事業計画 概要

《地域福祉・在宅福祉の推進》

1. 福祉推進員会議・福祉座談会の開催
2. ふれあいサロン事業の推進（町内32カ所）
3. 民生委員・児童委員活動（福祉カルテ・災害時要援護者台帳の整備等）
4. 配食サービスによる見守り訪問（週1回ボランティアによる弁当配布）
5. 善意銀行の運営（善意の寄付や奉仕活動の預託、活動への払い出し）
6. 社協だより「ふれあい」の発行（年3回全戸配布）

《生活困窮者自立支援事業の推進》

1. 生活困窮者自立相談支援事業の推進（相談者の困窮状態からの早期脱却を支援）

《福祉サービス利用・生活自立の支援》

1. 生活相談所の開催（第1水曜日：弁護士相談、随時：生活相談）
2. 福祉サービス利用援助事業（要支援者の日常的な金銭管理等の援助）
3. 生活福祉資金貸付（生活費用、技能習得、教育支援資金等）
4. たすけあい資金貸付事業（緊急一時資金）
5. 車いすの貸出
6. 福祉バスの運行（いきいきサロンの催事等での利活用、買い物ツアー 3回実施）

《介護保険等事業の充実》

1. ケアプランの作成（居宅介護支援事業）
2. ヘルパー派遣（訪問介護事業、障害福祉サービス、生活援助、通学支援）
3. ハ乙女げんき塾事業（定員120名、通所により閉じこもりの防止、介護予防）
4. 家族介護者交流事業（寝たきり等の家族を介護する方のリフレッシュ事業）

《ボランティア育成支援と福祉教育の推進》

1. ボランティア相談、コーディネート、保険の取扱い
2. 災害ボランティアセンター機能充実
3. 小学校福祉教育研究校委嘱（福祉教育、福祉思想の普及啓発活動を支援）
4. 中学・高校生ボランティア活動協力校委嘱
（ボランティア活動を通し、社会福祉への理解と関心を深める）
5. 傾聴ボランティア活動支援（月2回、白光園訪問・月1回の在宅高齢者宅訪問）

《福祉団体活動支援》

1. 民生委員児童委員協議会
2. 老人クラブ連合会
3. 身体障害者福祉協会
4. 手をつなぐ育成会
5. 遺族会

《共同募金運動の展開》

1. 赤い羽根共同募金運動（10月～12月、1戸600円）
2. 歳末たすけあい運動（12月、1戸300円）
（配分）・一人暮らし高齢者等の要援護世帯 ・学用品代として準要保護児童生徒
・友愛訪問活動 ・地域福祉活動（配食サービス等）

《子育て支援拠点事業の推進》

1. さくらの保育園経営（定員:150人、開園時間:午前7時～午後7時）
2. ひがしね保育園経営（定員: 90人、開園時間:午前7時～午後7時）
3. 子育て支援センターの管理経営
（遊び広場、育児相談・育児講座の開催、ファミリーサポートセンターの運営）
4. 放課後児童クラブ（鮎っ子クラブ、蚕桑っ子クラブ）の運営
（放課後の遊びや生活の場の提供、平日、土曜日、長期休暇、学校代休日）
5. チャイルドシート・ジュニアシートの貸し出し

《介護職員初任者研修の実施》

1. 研修期間（5月7日～10月25日）
2. 研修カリキュラム等（講義、演習、実習130時間）

平成31年度(令和元年度) 社会福祉事業並びに公益事業収支予算

社会福祉事業

(単位：千円)

【収 入】

1. 事業活動による収入

勘定科目	予算額
会費収入	5,024
寄付金収入	101
経常経費補助金収入	37,156
受託金収入	1,192
貸付事業収入	598
事業収入	392
介護保険収入	57,129
保育事業収入	265,067
障害福祉サービス事業収入	2,811
受取利息配当金収入	9
その他の収入	2,182

2. 施設整備等収入

施設整備等収入	0
---------	---

3. その他の活動収入

積立資産取崩収入	944
----------	-----

【収入合計 (1+2+3)】 372,605

公益事業 (生活困窮者自立支援事業) ※相談支援

【収入】

勘定科目	予算額
県受託金	2,524

【支 出】

1. 事業活動による支出

拠点	サービス区分	予算額
法人本部	法人運営事業	25,112
	福祉活動事業	1,599
	まちづくり事業	3,276
	共同募金配分事業	3,816
	老人福祉センター事業	130
	たすけあい資金貸付事業	600
	善意銀行事業	100
	福祉サービス利用援助事業	605
介護保険	居宅介護支援事業	15,449
	訪問介護事業	33,220
	介護予防生活支援受託事業	13,148
子育て支援	さくらの保育園経営事業	157,986
	子育て支援拠点管理経営	11,010
	放課後児童健全育成受託	15,869
	ひがしね保育園経営事業	76,942

2. 施設整備等支出

施設整備等支出	7,859
---------	-------

3. その他の活動支出

積立資産支出	10,042
--------	--------

【支出合計 (1+2+3)】 376,763

【支出】

勘定科目	予算額
事業費等	2,524

白鷹町社会福祉協議会

会費納入のお願い

社会福祉協議会では、みな様からご協力をいただき、さまざまな貴重な財源を、地域福祉ネットワークの推進やふれあいサロン、生活相談所、中学・高校生ボランティア活動支援などの事業に活用させていただいております。

本年度も地域福祉を推進する中核的団体として、地域住民の参加と関係機関、団体との連携を密にし、ながら「自立と協働」共に支えあうまちづくり」を基本に各事業に取り組んでいきます。

ぜひ本会の趣旨にご賛同いただき、地域福祉を推進していくため、みな様からのご協力をよろしくお願い申し上げます。

＊会 費 一世帯 一、二〇〇円

＊納入方法

7月下旬から組長さんを通じ、町内長さんに取りまとめをお願いしております。

白鷹町社会福祉協議会

賛助会費へのご協力

社会福祉、地域福祉の趣旨にご理解をいただいた町内事業所、篤志者のかたから、賛助会費のご協力をいただいております。

本年度もよろしくお願い申し上げます。

＊賛助会費 一口一、〇〇〇円

平成30年度 収支決算概要

1. 資金収支計算書

事業活動による収支

収入計	365,378,289
支出計	337,723,314
収支差額(1)	27,654,975

施設整備等による収支

収入計	60,663,228
支出計	94,777,392
収支差額(2)	-34,114,164

その他の活動による収支

収入計	15,324,680
支出計	7,558,685
収支差額(3)	7,765,995

当期資金収支差額合計

(1)+(2)+(3)	1,306,806
-------------	-----------

2. 事業活動計算書

(単位：円)

サービス活動増減の部

	当年度決算	増減(前年度比)
収益計	362,447,646	40,938,030
費用計	344,703,198	57,266,724
増減差額	17,744,448	-16,328,694

サービス活動外増減の部

収益計	2,592,643	837,663
費用計	2,337,200	790,800
増減差額	255,443	46,863

特別増減の部

収益計	110,255,805	110,255,805
費用計	110,255,803	110,255,802
増減差額	2	3

繰越活動増減差額の部

前期繰越活動増減差額	70,851,431	-15,718,295
当期末繰越活動増減差額	88,851,324	-32,000,123
その他の積立金取崩額	15,000,000	15,000,000
その他の積立金積立額	1,365	-49,998,651
次期繰越活動増減差額	103,849,959	32,998,528

3. 貸借対照表

資産	資産の部	
	流動資産	93,891,551
	固定資産	924,998,028
	合計	1,018,889,579
負債及び純資産の部	負債の部	
	流動負債	21,156,445
	固定負債	55,040,278
	純資産の部	
	基本金	65,857,000
	基金	13,572,933
	国庫補助金等特別積立金	625,748,266
	その他の積立金	133,664,698
	次期繰越活動増減差額	103,849,959
	(うち当期活動増減差額)	17,999,893
	合計	1,018,889,579

詳細は、事務室において閲覧等により開示します。



監事		理事						常任理事	副会長		会長	役職名
安部 美知雄	竹田 謙一	菊地 幸子	小林 宏一郎	長岡 聡	鈴木 智子	菅原 良教	照井 夕二	横澤 浩	海老名 慎一郎	小松 行信	竹田 寛治	氏名
第2号	第1号	第5号	第5号	第4号	第3号	第3号	第3号	第4号	第1号	第2号	第5号	選出区分
任期 自 令和元年6月21日～至 令和3年定時評議員会まで												

選出区分：(理事・評議員)
 第1号 住民自治組織の団体
 第2号 民生委員児童委員協議会
 第3号 社会福祉、保健衛生施設及び団体
 第4号 関係行政機関
 第5号 社会福祉関係活動者又は代表者及び学識経験者

選出区分：(監事)
 第1号 社会福祉事業有識者
 第2号 財務管理有識者

評議員		役職名
黒沼 磨智子	多田 章	氏名
5号	1号	選出区分
任期 自 平成29年6月9日～至 令和3年定時評議員会まで		

● 役員の選出

令和元年6月4日の理事会、6月21日の評議員会・理事会において、次の方々が選出されました。評議員については、前任者の辞任に伴い、新たに2名の方が選任されました。よろしく願います。(敬称略)

町社会福祉協議会は、町民皆さまからいただいた会費の一部を、白鷹中学校と荒砥高等学校のボランティア活動に助成しています。また、町内各小学校で計画されている福祉教育には、赤い羽根共同募金を基に取り組んでいます。

子ども達がボランティア活動や福祉教育を通じて、社会福祉についての理解と関心を深め、社会参加を促すための実践事業です。平成 30 年度の白鷹中学校の活動をご報告します。

白鷹中ボランティア活動報告 思いやりを広めて

白鷹町立白鷹中学校

一 はじめに

白鷹中学校では、生徒会ボランティア委員会を中心にして、日々のボランティア活動(花植え、空き缶・キャップ回収)を行っています。その他に、年一回の全校ボランティア活動(地域毎にわかれての美化活動)、あわせて町内の事業所で計画している行事にボランティアとして参加してきました。これらは、社会に参加する意欲を促すことをねらいとして取り組んできたものです。

二 今年度の取り組み



(1) 花植え活動
ボランティア委員が花植えと水やりを担当して、生徒昇降口に置くプラントナーに花を植えました。



(2) 全校ボランティア活動
住んでいる地域の公民館や施設をきれいにすることで、地域の方への感謝の気持ちを表す。

◇普段使っている公民館等を、地域の方と一緒に清掃することができました。学校の生活の事や地域の事などたくさん話をしながら活動できた貴重な時間でした。

(3) 空き缶・ペットボトルキャップ回収活動

月に一度、回収強調週間を設け、生徒が家庭から持参しました。毎年、空き缶を売って、車椅子を町の施設に寄贈しています。今年度は「白光園」と「マリスカイ中山」さんに寄贈しました。



◇普段使っている公民館等を、地域の方と一緒に清掃することができました。学校の生活の事や地域の事などたくさん話をしながら活動できた貴重な時間でした。

三 おわりに

この他に町内の福祉施設の白光園さんや陽光学園さんでのボランティア活動や若鮎まつり等でのボランティア活動に参加してきました。

様々な活動に参加することで、将来の社会参加を実践する心が育ったのではないかと振り返ることができました。



がお元気に過ごしていただけるようにと、心をこめて贈りました。また、ペットボトルキャップは、山形銀行さんを通じて病気で苦しむ地域や世界の子どものために役立ててもらえるようにと、贈りました。

約十二人の子ども達にポリオワクチンが行き渡ることになるそうです。



ボランティア情報発信



あたたかいご寄付とご招待ありがとうございました。

【善意銀行へ】 〈H31.2月～6月まで〉 (順不同)

○預託

軽部華仙 様 絵画2点
鈴木しげ 様 タオル30枚
小川クリーニング店 様 毛布クリーニング15枚

○払出

さくらの保育園へ 絵画2点
訪問介護事業所へ タオル30枚
単身要援護者世帯へ 毛布クリーニング
の技術提供15件

白鷹若柳会 若柳雪都美 様 10,000円

【さくらの保育園へ】

花ショップポピー 様 フラワーアレンジメント体験
丸川畜産 様 牛肉
鈴木重治 様 さくらんぼ狩り

【ひがしね保育園へ】

農協青年部 様 田植え体験
梅津 遥 様 ピンクのじゃがいも種芋提供
金田芳宏 様 さつまいもの苗植え体験
鈴木工務店 様 さくらんぼ狩り招待
築山の赤土、重機の提供



古切手のご協力感謝申し上げます (H31.2.6～R1.6.28までの分) 順不同

丸ト建設株式会社 様	有限会社菖蒲園 様	共栄建運(株) 様	有限会社齋藤総建 様
西塚管工事店(株) 様	白鷹あゆみの園 様	(株)尚古堂 様	白鷹更生保護女性会 様
迎田自動車整備工場 様	白鷹町立蚕桑小学校 様	学校法人白鷹学園 様	白鷹高等専修学校 様
高野ふれあいいきいきサロン 様	おかえりなさいコンサート 様	白鷹町立病院 様	
白鷹町役場町民課 様	白鷹町役場健康福祉課 様		

鈴木弘子 様	斉藤ちよ子 様	三浦美枝子 様	鈴木しげ 様	殿岡しづ 様
新野義弘 様	迎田はる江 様	山田 道 様	板垣とみ子 様	大木せつ 様
芳賀由紀 様	鈴木雅明 様	小松史子 様	船山義彦 様	
大滝いせ 様	匿名17名 様			

古切手の種類と切り方

- どんな切手でも OK(日本・外国・記念切手) ●古切手のまわり 1 cmを残しハサミをいれる。
- 白鷹町ボランティアセンターにお届けください。(社会福祉協議会内)



この車両は、ボランティア活動、地域調査活動、防災訓練、子育て支援事業等の幅広い社会福祉事業において、地域に出向く際の移動手段として活用していきます。

山形県共同募金会より、平成30年度共同募金配分を受け、地域福祉車両を購入しました。これは、共同募金運動が70周年を迎え、その記念事業として地域福祉・在宅福祉事業の推進のため配分されたものです。

「地域福祉車両」が
配備されました

『傾聴ボランティア養成講座』が始まりました

6月19日(水)、白鷹町健康福祉センターにおいて傾聴ボランティア養成講座の開講式が行われました。8名の受講者が、ボランティア体験を含め全11回の講座を受講していきます。

現在「白鷹傾聴ボランティアひまわり」の会員9名が、特別養護老人ホームや在宅を訪問し、心のおもいや言葉に耳を傾ける活動をしてきました。その中で、新たな訪問希望者や利用者から訪問回数を増やして欲しい等、傾聴ボランティアを利用したい方が増えてきました。そこで、このたび在宅訪問の



活動充実を図るため、傾聴ボランティアとして必要な心構えや技術などを学び、地域で活躍できるボランティアを養成していくことになりました。

6月25日(火)、臨床心理士である齊藤先生から「老年期における心理社会的課題の特質」と題し、講義をしていただきました。高齢者の心の動きについて、精神分析の人生段階に合わせた説明を受けました。受講者は積極的に質問を行い、傾聴の基本を学んでいます。

募集

「サロンをひとつ、つくってませんか!」

あなたのまちに、仲間が集うサロンの立ち上げを考えてみなせんか。どんな人を集めたいの? 活動資金は? 等。事務局から地域に出向き、立ち上げについての疑問・質問にお答えしていきます。

ぜひ、興味のある方、ご連絡をお待ちしています。

「配食ボランティア」

是非、ご協力ください

町内の高齢者ひとり暮らし世帯等に、毎週お弁当を届けています。現在4名のボランティアにご協力いただき、配達を通して見守り行っています。

訪問先では「毎週楽しみにしたなよ」「ご苦労さま」などと、元気な声を逆にかけていただいています。

ご協力いただける方、お待ちしております。

○自動車運転免許をお持ちの方

○毎週木曜日 午前10時30分

～午前11時30分まで

お問合せ：白鷹町ボランティアセンター

TEL. 0238-86-0150

赤い羽根共同募金活動

「おかえりなさいコンサート」



5月19日(日)、蚕桑地区コミュニティセンターにおいて、「第28回おかえりなさいコンサート」が開催されました。

このイベントを通し、障がい者の社会参加の促進を図るとともに、ボランティア活動の推進や地域における「しょうがい」への理解を促すことを目的とした、手づくりの福祉コンサートを開いていきます。

当日、200名を超える来場者は、出演者の歌や踊り、芝居に大きな声援や拍手を送りました。

この活動には、一部、赤い羽根共同募金を利用されています。共同募金会では、地域で活動する団体を応援しています。

各種相談窓口のご案内 ～ 困った時は迷わず、すぐにご相談ください。～

福祉サービス利用援助事業 ☎0238-86-0150

認知症高齢者や知的障がい、精神障がいのある方などで、福祉サービスを利用したいけど手続きが分からない方、お金の管理や引き出しが出来なくなってきたなど、日常生活に不安がある方の相談や関係機関へのつなぐお手伝いをしています。

【支援内容】

- 福祉サービス利用のお手伝い
- 日常的な金銭の出し入れのお手伝い
- 大切な書類等の預かり(貸金庫でお預かりします)

※詳しい内容をお知りになりたい方、ご相談は社会福祉協議会までお問い合わせください。



成年後見制度に関する相談日

「成年後見制度」は、認知症の高齢者や障がいのある方の財産管理、生活に必要な福祉サービスなどの調整、本人に代わり法律行為や契約を行う、騙されたり誤った契約を取り消しすることができる、このような支援を行い認知症の高齢者や障がいのある方を保護していく制度です。

認知症のご両親や障がいを持つ子どもさんの財産管理、身寄りのない方の財産管理、遺言、相続、介護保険・施設入所など、ご相談することができます。

※事前予約が必要です。

予約：☎023-615-6565 (電話相談も可能)

予約日時：月曜日～金曜日(土日祝日を除く)

午前9時から4時まで

場所：山形県社会福祉士会 事務局

山形市小白川町2-3-31

山形県総合社会福祉センター3階

生活困窮などに関する相談窓口

仕事のこと

- ・仕事が続かない
- ・仕事が見つからない
- ・働く意欲はあるが自信がない など

生活のこと

- ・社会にでるのが怖い
- ・今日食べる物が無い
- ・周囲に頼れる人がいない など

お金のこと

- ・家計のことで悩んでいる
- ・家賃や公共料金の滞納がある
- ・収入と支出のバランスが崩れている など

健康のこと

- ・重い病気になってしまった
- ・こころの病気で働けなくなった
- ・入院費用の支払いなどが不安 など

西置賜地域生活自立支援センター

☎0238-86-0150

場 所	白鷹町健康福祉センター内
相 談 日	月曜日～金曜日(祝日を除く)
受付時間	午前8時30分から午後5時15分
相談方法	事前予約をお願いします。

生活福祉資金貸付制度のご案内 ☎0238-86-0150

この貸付制度は、他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者世帯などが経済的自立と生活の安定、在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。民生委員や市町村社会福祉協議会が窓口となり、県社会福祉協議会が実施主体となって、無利子または低利子で資金の貸付を行うものです。

【資金の種類】総合支援資金 福祉費

…失業などにより世帯の生活の維持ができなくなった など
…日常生活を送る上で、一時的に必要であると見込まれる費用 など

緊急小口資金

…緊急に一時的に生計の維持が困難となった など

教育支援資金

…高校・短大・退学・専門学校の就学費用

※総合支援資金と福祉資金緊急小口資金の利用をする場合、生活困窮の相談窓口と一緒に支援をしていきます。詳しいことは、お問い合わせください。

※教育支援資金の申請希望の方は、締め切り間際の申請にならないよう、できるだけ早めの申請手続きをお願いします。